

このひと月、頑張れるか頑張れないかが一生を決めるよ。

(林修)

TEAM KONAN

注目! 推薦入試の実際 (自己推薦編)

先週は推薦入試(学校推薦)に関する説明をしましたが、今回は自己推薦に関する説明になります。

自己推薦と学校推薦の大きな違いは、「基本的に中学校長の推薦が不要であること」です。つまり、各高等学校が示す受験(検)生に求める能力や適性(アドミッションポリシーという)に合致していることを条件に、生徒自らが得意分野や長所、進学目的等を積極的にアピールできる推薦入試となります。かといって、誰でも自己推薦を受けられるわけではなく、各学校が示す「推薦要件」を満たしていなければなりません。今回は鹿児島学区の公立高等学校を中心に、推薦要件をまとめてみました。自己推薦を考えている生徒はぜひ参考にしてみてください。なお、どの高等学校も、

- ① 令和7年3月に中学校を卒業見込みの者 ② その高等学校を志望する動機が適切である者
 ③ その高等学校の教育方針のもとで学ぶ意思が固い者 ④ その高等学校での学習を積むに十分な学力を有する者

この4つは前提として満たしていなければなりません。その上で下記の要件を満たす者が自己推薦出願該当者となります。

鶴丸高等学校 (推薦枠32人のうち、若干名)

- ・ 本校の学業に適応する能力を有するとともに、将来、国際化、情報化、科学技術の発展、環境の問題等社会の変化に対応し、有為な働きが期待できる者
- ・ 学問的探究心、国際的視野、高度な専門性(スポーツ・芸術分野等も含む。), 論理的思考力、問題発見・解決能力について、極めて高い資質・能力を持ち、本校のアドミッションポリシーに合致する者
- ・ 具体的には各分野における世界大会日本代表又は全国入賞程度の実績がある者

例 第〇回全国物理コンテスト 物理チャレンジ20〇〇 金賞

第〇回全日本中学校陸上競技選手権大会100m第1位 第〇回中高生情報学研究コンテスト優秀賞 等

鹿児島中央高等学校 (推薦枠32人のうち10人以内)

- ・ 生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動の中のいずれかにおいて、中学時継続して活動し、優れた資質や実績を有する者又は特定の教科において優れた能力を有する者
- ・ 中学校第3学年次の9教科の評定合計が40以上ある者で、各教科の評定において「1」と「2」がない者

武岡台高等学校 (普通科推薦枠24人、情報科学科推薦枠24人すべて自己推薦)

- ・ 次のア～ウのいずれかに該当する者
 ア: スポーツ活動又は文化活動において優れた資質・技能や実績を有する者
 イ: 生徒会活動又はボランティア(奉仕)活動等に積極的に参加し、顕著な実績を有する者
 ウ: 中学校で履修した教科に係る資格や検定等において卓越した能力を示したり、資格を得たりした者
- ・ 第3学年の各教科の評定において、9教科の5段階評定の合計が33以上あり、「1」と「2」の評定がない者

錦江湾高等学校 (普通科推薦枠16人、理数科推薦枠24人のうち一部)

- ・ 3年次の全教科(9教科)の評定の合計が27以上であり、「1」がないこと。(普通科・理数科)

鹿児島南高等学校 (体育科のみ実施。推薦枠32人のうち一部)

募集種目: フェンシング(男・女)、水球(男)、陸上競技(男・女)、ハンドボール(女)、バレーボール(女)、柔道(女)、サッカー(男)

- ・ 基礎運動能力及び特技とする運動種目に優れ、特に顕著な実績があり、入学後も継続して活動していく意思を有する者

松陽高等学校（普通科体育コース、書道コース、英語コース、音楽科、美術科は実施。）

普通科体育コース：2,3年次に体育コースを選択する意思があり、運動技能検査で選択した種目に入学後も本校部活動に継続して取り組む意思がある者

普通科書道コース：2,3年次に書道コースを選択する意思があり、部活動への参加も含めて、入学後も書道に取り組む意思がある者

普通科英語コース：2,3年次に英語コースを選択する意思がある者

音楽科：専攻別実技検査で選択した専攻に入学後も継続して取り組む意思がある者

美術科：部活動への参加も含めて、入学後も美術に取り組む意思がある者

鹿児島東高等学校（推薦枠8人のうち一部）

- ・ 生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動等の中のいずれかにおいて優れた資質や実績を有する者又は特定の教科において優れた能力を有する者
- ・ 国際交流、異文化などに興味・関心を有し、英語及び韓国語や中国語などの語学力向上を目指すとともに、本校が実施する韓国、中国、タイへの短期派遣制度に関心をもち、本校入学後に国際交流ボランティア及び異文化交流の諸活動に積極的に参加しようとする意欲がある者

鹿児島工業高等学校（工業Ⅰ類推薦枠72人、工業Ⅱ類推薦枠36人のうち一部）

- ・ スポーツ活動、文化活動、生徒会活動、ものづくり活動の中のいずれかにおいて優れた資質や実績を有する者
- ・ 中学校第3学年で学習した各教科の5段階評定が2以上である者

鹿児島商業高等学校（ビジネスクリエイト科推薦枠48人、情報イノベーション科推薦枠48人、アスリートスポーツ科推薦枠80人のうち一部）

「ビジネスクリエイト科」及び「情報イノベーション科」においては、生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動、特定の教科、探究活動、取得した資格や検定等の中のいずれかの分野において実績や優れた資質を有する者、「アスリートスポーツ科」においては、スポーツ活動において実績や優れた資質を有する者。

鹿児島女子高等学校（ファイナンシャルビジネス科推薦枠20人、ビジネスデザイン科推薦枠40人、スポーツビジネス科推薦枠32人、ファッション・フードクリエイト科推薦枠40人、ライフ・スポーツ科推薦枠48人のうち一部）

・ 次の推薦分野のいずれかに該当する者

A: 分野学習状況が良好な者、又は生徒会活動やボランティア活動、探究活動、地域活動、文化的又はスポーツ活動（B, C分野の部活動を除く）等に興味・関心があり、入学後に活動の意思がある者（校外での活動も含む）

B: 分野文化系及び生産系の分野に興味・関心があり、本校で活動の意思がある者（対象の部活動：音楽、美術、書道、珠算、簿記）

C: 分野体育系の分野で興味・関心があり本校で活動の意思がある者（対象の部活動：バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、ソフトテニス、卓球、陸上競技、バドミントン、弓道、新体操、サッカー、水泳、剣道）

甲南高等学校…今年度自己推薦なし（推薦枠全て学校推薦）

その他の高等学校は未公表または詳細検討中입니다。今月末に公立を中心に中高連絡会が多く開かれるので、そこで発表があると思います。（高等学校HPをよくチェックしておいてください。）

自己推薦は自己のPRがメインとなってくるため、試験内容も学校推薦と異なります。（学科に応じた適性検査（テスト）やプレゼンテーションなど）。ですので、自己をPRする以上、自分が誇れる実績や成果があればあるほど有利に働くと考えます。ただ、学校推薦同様、「学力検査を受けたくないから!」という安直な気持ちでは厳しい結果が待っていると思います。自己推薦入試希望者は、三者相談にて、その旨を担任の先生へ伝えてください。学校によっては、評定が推薦要件に絡むところもあります。これらの推薦要件を満たしているかをよく保護者を含めて十分に考えておきましょう。